

第1回半田市議会定例会文教厚生委員会委員長報告書

当文教厚生委員会に付託された案件については、2月26日、午前9時30分から、全員協議会室において、委員全員出席のもと慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

始めに、議案第1号中、当委員会に分割付託された案件については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

介護保険事業勘定繰出金について、特別会計で使用するシステム改修に要する費用を一般会計から繰出す必要があるのか。とに対し、

介護保険法により介護保険に係る事務費及び職員給与については、一般会計から繰出すことになっております。とのこと。

子ども手当支給費について、遡及申請が少なかったということだか、どのような理由か。また、申請が必要な方で未申請の方はみえるのか。とに対し、

平成23年10月分まで遡及して手当を受けるためには、平成24年9月までに申請が必要となるため、平成23年10月以降に勧奨の通知や家庭訪問を行うなど、申請勧奨を行った効果により、平成23年度末の時点で、未申請件数が全体の3%となり、平成24年度当初予算で見込んでいた1割に比べ少なかったものです。

また、現時点で3名の方が添付資料の不備により保留となっておりますが、それ以外の方は申請をいただいております。とのこと。

市立保育園空調機設置事業について、実績に基づき予算額の計上をしていると思うが、4月から建材が値上がると言われている状況の中で、この予算額で問題はないか。また、空調機は1基当たりいくらか、とに対し、

平成24年度の契約実績を踏まえ、建築課の設計技師と詳細な打合せを行い設計単価等も考慮し予算計上をしたものです。また、1基当たりの費用は工事費を含め約84万6千円程度となります。とのこと。

体育館等改修事業について、国の緊急経済対策により前倒しで行うとのことだが、非構造部材の耐震化や老朽化対策も対象となる中で、他の事業を選択する考えはなかったのか。とに対し、

非構造部材の耐震化や危険建物等については、予算の細かい積算が出来ておらず、事業計画書も必要なため、平成25年度実施予定の事業をまずは前倒しで行うという考えに基づき決定したものです。とのことでした。

その後、討論を省略し、挙手により採決した結果、賛成多数をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第8号については、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第9号については、補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

介護保険システム改修委託料について、どのような改修を行うのか。とに対し、

平成24年度の制度改正により、定期巡回や随時対応型訪問等の新たなサービスが出来たことに加え、個々の介護認定情報と介護給付費情報を突合できるようにすることで、要介護状況に応じたサービス利用状況等が把握できるデータベースを構築し、保険者毎に閲覧できるシステム改修を行うものです。とのこと。

介護サービス給付費について、施設利用者及び認定者数が少なかったとのことだが、要因は何か。とに対し、

地域密着型特定施設については、費用面及び運営事業者が市外の事業者の参入で、認知度も低いことなどによるものと考えています。また、老人保健施設については、当初、施設の職員体制が不十分で、入所者を調整して段階的に受け入れていたことによるものです。また、認定者数については、過去3年間の認定率の伸びを基に推計しましたが、見込みより伸びが少なかったことが要因と考えています。とのことでした。

その後、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

次に、議案第10号については、補足説明の後、慎重審査し、討論を省略し、採決した結果、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。